

## 藤樹人間学塾… 藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に思想を学ぶとともに自らの頭で考え、時事問題と組み合わせることで議論しながら思考を深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。本稿ではその模様をお伝えいたします。

■令和五年九月、安曇川公民館で第百四十一回人間学塾を開きました。参加者は九名でした。

### ●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第五巻

仁虐報の第三話～第五話

### ●今日のポイント

- ・羅氏は仁の行為を楽しんでやっていた。楽しむことが大事。
- ・仁は人間にとって最も普遍的で包括的、根源的な愛とされる。
- ・無明（真理に暗い）を除くために必要なのは光明であり、親鸞はこれを智慧の光明と呼び、私たちはその光に出遭うならば生死、善悪を初めとする二元相対の世界を離れ、ついに仏（一元絶対の世界）になるとした。

### ◇フリートークキング

・「二元絶対の世界があることが

分かって興味深い。この塾は貴重な場だ」

■十月、第百四十二回人間学塾を開きました。参加者は十名でした。

### ●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第六巻

淑睦報の序、第一話、第二話

### ●今日のポイント

- ・私たちに本来、万物一体の仁心が備わっているということ、森信三師が説かれる、我われ人間自体が、絶対的「いのち」である大宇宙生命（神）の分身である、とつながる。
- ・「いまを生きる」ということは、「今日が自分の最期の日になるかもしれない」と思って生きているということだ。そうすることで、今日という日を、自分の人生の中で最善の一日にすることができるところ。 (ネルケ無方)

### ◇フリートークキング

- ・「他人に打ち勝とうとするよりも、昨日、今日の自分を少しでも高めていきたいと思った」

■十一月、中江藤樹記念館で第百四十三回人間学塾を開きました。参加者は七名でした。

### ●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第六巻

廉貪報の序、第一話



### ●今日のポイント

- ・廉の境地にある時は万物一体に仁が明らかで必ず素晴らしい報いがある。
- ・善行をすることにより、五福のいくつかを獲得することができる。
- ・貪る者は、金銀を惜しみ自・他のために使わないことは愚痴で、禍も山のように集まる。

### ◇フリートークキング

- ・「お金といのち。いのちは有限だから大切にしなければならぬ。お金は生きた使い方をしなければならぬと思った」

■十二月、安曇川公民館で第百四十四回人間学塾を開きました。参加者は十名でした。

### ●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第六巻

廉貪報の第二話～第四話

### ●今日のポイント

- ・普通の人は、貪る時に財産が増え、貪らないときは財産が増えないと考える。しかし廉直であつても決して財産を失わな

い。

- ・人間は皆、空っぽのタライのような状態で生まれてくる。そしてそのタライに自然やたくさんの人たちが水を満たしてくれ

る。他に幸せをあげようと水を相手に押しやろうとする幸せは自分の方に戻ってくる。・・・

### ◇フリートークキング

- ・「永平寺で一泊禅修行をしたことがある。財産をあの世へ持つていけないので生きている間にいかに時間を使うか、実践活動するかだと思う」
- ・等の意見をいただきました。ありがとうございます。

人間学に関心のある方は是非お越しください。無料です！

## 藤樹人間学塾 今後の予定

二月三日（土）、三月二日（土）、

四月六日（土）、五月十一日（土）

■時間（原則）十五時～十七時

■場所（原則）安曇川公民館